

(法第 28 条第 1 項関係様式例)

2010 年度事業報告書

2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日まで

(特定非営利活動法人 大津夜まわりの会)

1 事業の成果

2010 年度の活動は、昨年同様路上生活者への支援事業として以下の内容を行った。

前年度同様の活動を行った結果、状況の変化や新しい問題の発見があった。

・ホームレス生活の状況に変化

2010 年度支援活動の相談内容などから、ホームレスの状況に変化が見られることが分かった。長期に渡る野宿生活者は減少する一方で、低賃金が原因の住宅費滞納、ネットカフェ生活、友人知人宅に身を寄せるなどの形でホームレスとなる人が増えている。さらに、経済的な貧困のみならず、人や社会との関係の希薄さによる問題を抱えていることも分かった。

・脱ホームレス後の問題

07 年に NPO 法人取得後 150 人を越える相談を受け、一定の成果を挙げてきた。しかし新たな問題も生まれている。それは、野宿生活から立ち直って居住地を確保できたものの、地域社会にうまく溶け込むことが出来ず「孤立」していることである。

そこで当法人では、次年度にサロンを作ることを目標としその意義を検討。日々の支援活動を通じて、サロンのありかたとして次の目標を掲げた。

i)彼ら（ホームレス、地域で孤立している人々）の居場所となるものであること。

ii)人との関わり方を学ぶ場となるものであること。

iii)居住生活者のニーズを把握する場であること。一人きりで生活し仕事もなく、行くところも無い人の生活破綻を防ぐため、問題を早期発見する場であること。

（ギャンブル、失踪、アルコール依存、借金などのトラブル回避も含む）

iv)社会参加を体験する場となること。社会参加を体現する場として、すぐに就労には結びつかなくても社会参加、地域社会につながる、職業観や就労することの意味を学ぶ場ともなること。

当法人の活動は「野宿生活者」を対象にしているものではあるが、「独居老人の孤独死」が社会問題となっている昨今、その様なことを防ぐ上でも大きな役割がある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	受益対象者の範囲及び人数	収入額(千円)	支出額(千円)
野宿生活者・脱野宿生活支援、他貧困問題解決全般に関する活動	1. 相談総数 ① ホームレス 生活保護申請・受給者 ② 生活に関する相談 障害 酒依存症 精神疾患 負債 見守り活動	4月1日～	大津市内	58名 46名 34名 12名 3名 1名 2名 2名 4名			
居宅生活以降後の支援	2. セミナーの開催 財団法人日本社会福祉弘済会からの助成金で“被保護者と要保護者に対する自立にて12回 向けた勉強会”を毎月開催。長期間の路上生活者にとって座学のみ数時間は負担となるため、参加しやすい会場となるよう工夫した。結果、参加者は増え恒例となった。 また意見や質問、暮らしの体験談なども出るようになった。当事者同士で交流を図るきっかけとなり、今後の支援に反映できる貴重な意見を得ることも出来た。	4月～3月	大津市内	200名	300	496	
	3. 越冬支援行事 今年度で9度目の実施。今回は「NHK赤い羽共同募金」による応援をしていただき、 ①衣類（下着等）50組②新年用の食料・御餅を配布することが出来た。 市民からの支援物資も多く集まり、ボランティアや地域の支援者の協力を頂き交流	12月26日	大津市木ノ下町 木下自治会館	100名	200	295	

	の場も広がった。					
調査・研究	4. 訪問調査 膳所公園一帯を調査し、ホームレスを訪問し聞き取り調査を行った。		膳所公園 ～浜大津 湖一帯	1名	30	
広報・啓発	5. 実践報告 ・瀬田南学区民生児童委員会研修会で実践報告。 ・滋賀県立大津高等学校教職員自主研修で実践報告。 ・瀬田中学校 3 年生の授業で講話を行った。 ・米原市民生委員児童委員協議会連合会で実践報告	7月25日 11月15日 2月16日 5月28日 3月19日	瀬田南市 民センタ ー 大津高校 瀬田中学校 米原市		約 20 名	
	6. シンポジウム・講座 「困難があっても地域で生活！」 地域での支援ネットワーク作りをテーマにシンポジウムを行った。		大津市市民活動センター 大會議室			

(2) その他の事業

定款の事業 名	事 業 内 容	実施日時	実施場 所	従事 者 の 人 数	収入額 (千円)	支出額 (千円)
	なし					

(3)

(法第 28 条第 1 項関係様式例)

2010 年度 特定非営利活動に関する 会計財産目録

2011 年 3 月 31 日現在

(特定非営利活動法人 大津夜まわりの会)

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	7,675	
普通預金ゆうちょ銀行四六八支店	0	
流動資産合計		7,675
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		7,675
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		7,675

(法第28条第1項関係様式例、勘定式)

2010年度 特定非営利活動に関する 会計貸借対照表
2011年3月31日現在

(特定非営利活動法人 大津夜まわりの会)

科 目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	7,675		
普通預金ゆうちょ銀行	0		
流動資産合計		7,675	
2 固定資産			
固定資産合計		7,675	
資産合計			7,675
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		142,795	
当期正味財産増加額(減少額)		▲135,120	
正味財産合計			7,675
負債及び正味財産合計			7,675

(法第 28 条第1項関係様式例)

2010 年度特定非営利活動に関する 会計収支計算書

2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日まで

(特定非営利活動法人 大津夜まわりの会)

科 目	金 額 (単位 : 円)			備考
(資金取支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費・入会金収入				
正会員会費	70,000			5000 円*14 名
入会金	10,000			5000 円*2 名
賛助会員会費	20,000			1000 円*20 名
		100,000		
2 事業収入			0	
3 助成金収入				
	300,000			日本社会福祉弘済会
	200,000			NHK 歳末助け合い義援金
		500,000		
4 寄付金収入				
	415,780			個人、市社協、越冬支援
		415,780		
5 その他				
雑収入	30,000			ホームレス支援実態調査協力金
利息	162			株式会社イリオス
		30,162		
経常収入合計			1,045,942	
II 経常支出の部				
1 事業費				
通信費	217,491			携帯電話 2 台
支援費	53,335			ホームレス支援(食料品)
		270,826		
2 管理費				
事務費	24,548			インク、A4 用紙など
通信費	78,370			固定電話 76,345 円、切手など
借上費	6,900			スマートオフィス 5,000 円
交通費	0			会議室利用料 1,900 円
雑費	9,055			大型ごみ・本代他
		118,873		
3 日社済助成金事業費				
会議費	9,025			会議室使用料
会議費	108,028			弁当代、お茶代
報告書作成費	1,729			写真用紙、コピー用紙代
専門家謝金	377,250			講師謝礼金
		496,032		
4 赤い羽助成金事業費				

材料費	109,274		パック餅、保存食品 他
衣料費	100,292		下着類
消耗品費	27,920		餅臼用木台 他
印刷費	25,200		お知らせビラ 他
交通費	20,000		ボランティア
その他	12,645		ビニール袋 他
	295,331		
経常支出合計		1,181,062	
経常収支差額		▲135,120	
III その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入		0	
その他資金収入合計		0	
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出		0	
その他資金支出合計		0	
当期収支差額		▲135,120	
前期繰越収支差額		142,795	
次期繰越収支差額		7,675	
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額		▲135,120	
当期収支差額(再掲)			
2 負債減少額		0	
増加額合計			
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額		▲135,120	
(再掲)(マイナスの場合)			
2 負債増加額		0	
減少額合計			
当期正味財産増加額		▲135,120	
(減少額)			
前期繰越正味財産額		142,795	
当期正味財産合計		7,675	